

## 高齢者のアセスメント（サービスの確認）

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

### （1）介護保険サービス

介護保険サービスについては、ケアプランに基づいて適正・的確に提供され、高齢者の自立支援のために実施されているかになります。

ケアマネジャーとしては、利用者の状況を的確に把握するために、利用者の家庭への訪問時において、どういう目的で行くのかを明確にすることが大切な一歩です。また、ケアプランが利用者・家族並びにどう理解されているかも確認することが必要です。

### （2）サービス提供

サービス提供の必要性は、アセスメントを整理する時に問題点・課題を整理したところですので、視点は明確になっていると思います。

### （3）サービスの実施

サービスの実施内容について、訪問介護サービスであれば手順書、通所介護サービスであれば日課表等を確認し、利用者・家族等にその内容を確認することも必要ですし、話し合いも大切です。利用料の負担が伴うため、難しい問題も予想されますが、いかに今日・明日を生きていくための支援・援助につながるのかを検討する必要があります。

### （4）事業者との調整

サービスの実施は、事業者・事業者従業員が行うものであり、日常の利用者の状態はよく観察されているので、その内容がいかにケアマネジャーに届くのがカギになりますので、日常の調整をいかにこなうかになります。

### （5）サービスの内容変更

ケアマネジャーとして、内容の変更を感じたときは迅速に行うことが必要です。また、高齢者の場合は、何らかの疾病を持っているのでそのことにも十分考慮する必要があります。

ケアマネジャーとして、利用者の状況を把握することで、適正・的確なサービスが提供できるものと思います。